

## 松下幸之助「経営の基礎は人である」 — 失敗を恐れず挑戦する人に —

パナソニックグループでは、本年度より、事業構造改革による収益性改善から、売上成長による利益創出へとフェーズを移し、新しいパナソニックを創るべく、全社をあげて「未知なる未来」に挑戦しております。

「未知なる未来」を主役となって切り拓いていくのは、社員一人ひとりであり、一人ひとりのチャレンジなくして会社の成長は望めません。

創業者・松下幸之助は、「経営の基礎は人である」との考えのもと、人を育て、人を活かすことに重きを置いた経営を進めてきました。社員一人ひとりの可能性を信じ、会社の成長には個々人の成長が絶対に必要であると、社員稼業に徹し、自責で仕事を進めることを要望し続けてきました。そして、その期待に応えた社員が、より高い次元の仕事成し遂げて、会社を成長・発展させてきました。

この特別展では、幸之助がどのように人を育て、活かしてきたのか、さらにはその思いに応えようと、諸先輩がどんな挑戦をしてきたのか — 幸之助自身のことばやエピソード、社史上の事例を展示しています。

皆様方が、それぞれの立場で、失敗を恐れず挑戦し、「未知なる未来」を切り拓く一助にしていただければ幸いに存じます。

松下幸之助 歴史館